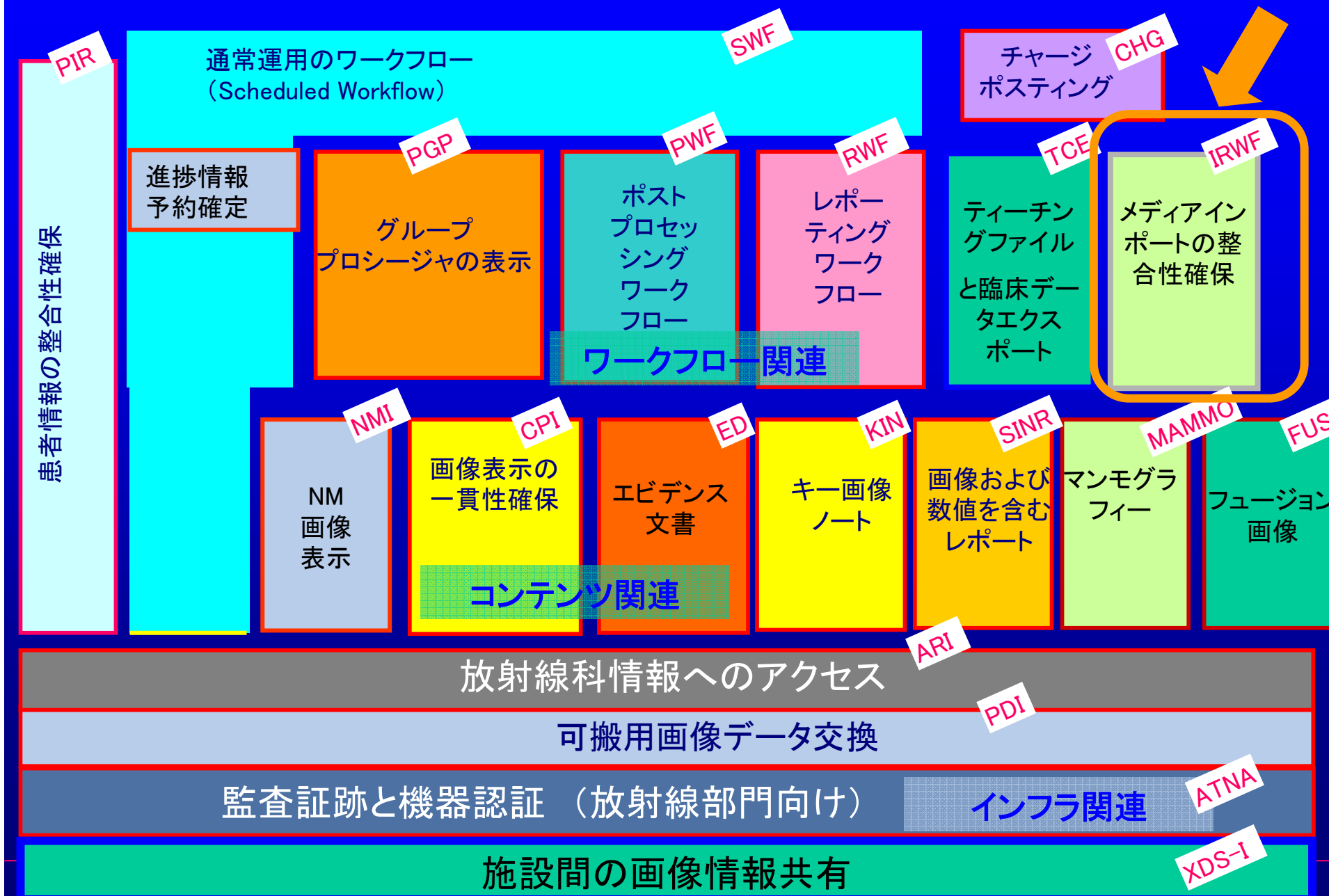


I RWF (Import Reconciliation Workflow)

放医研・医療情報課
向井 まさみ



IRWFの位置づけ～放射線部門統合プロフィール



Import Reconciliation Workflow Profile: IRWF

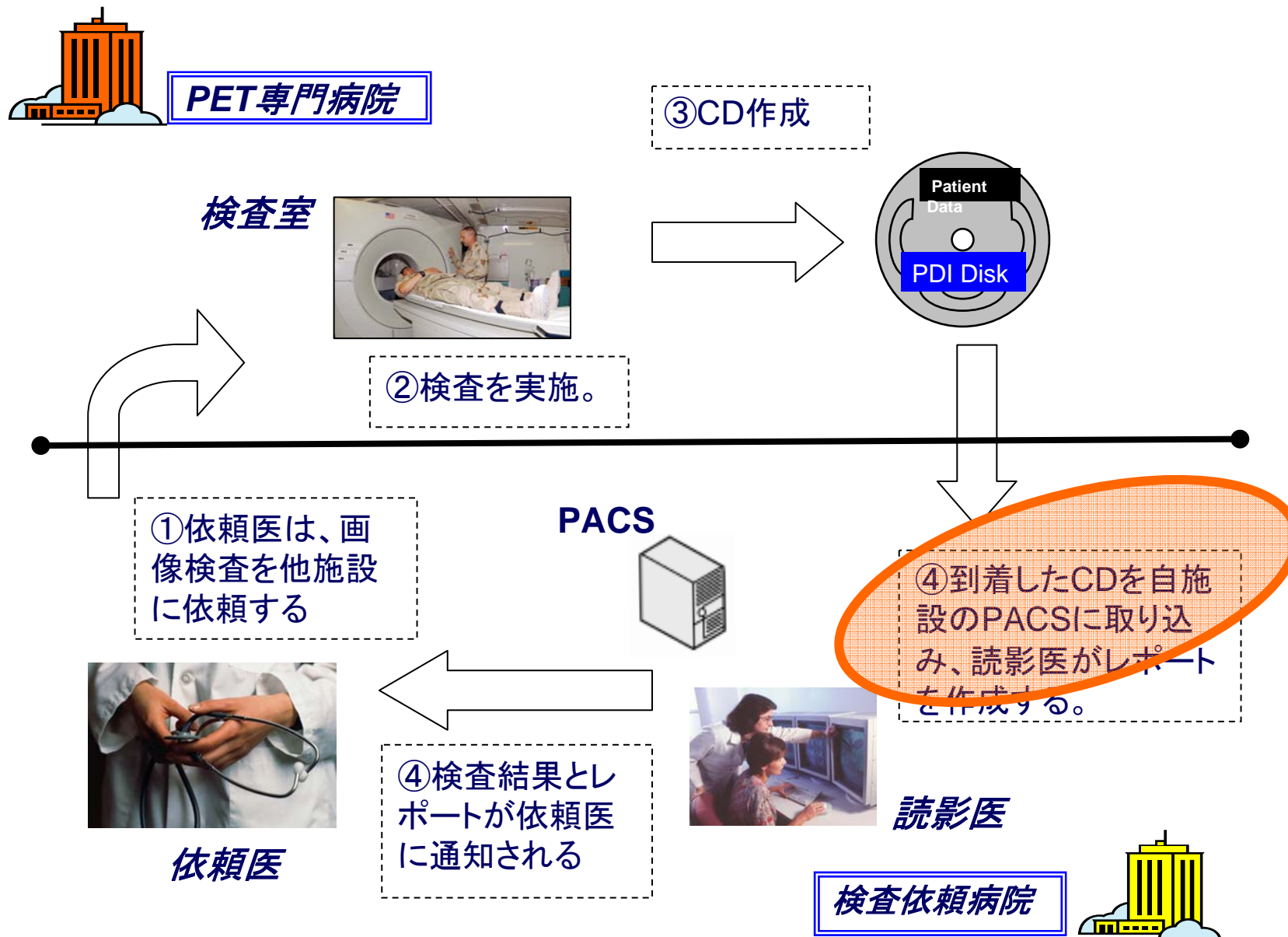
取得情報の整合性確保
ワークフロー



目的

- 他施設から持ち込まれた可搬媒体（CD、フィルムなど）内のデータを、自施設のシステムにインポート（取り込み＋格納）する。
 - 画像を取込む手段は問わない。
 - 取込み後、患者情報やオーダ関連情報を（必要に応じ）書き換え、自施設内で運用できるようにする。
 - 変更されたオリジナルの情報は保持される。

ユースケース・例1・検査の外部委託



ユースケース・例2・紹介



診療所 (紹介元)



【検査室】



検査実施

CD作成



PDI Disk



一般病院 (紹介先)

【外来】



患者登録

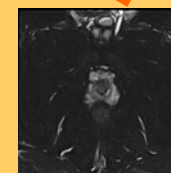


画像参照

【サーバ室】

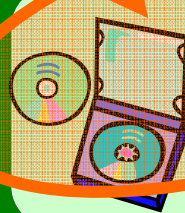


画像取込み
オーダー



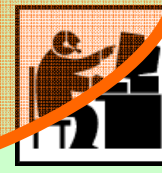
画像格納・管理

【受付】



CD読込み

(ID変換、画像取込み)



① 紹介元の病院で実施した画像検査の内容をCDに書込み、紹介先の病院に持参する。

② 患者が持参したCDの画像内容を自院で利用できるよう加工し、格納・管理する。

前提条件～Out of Scope

Unregistered
Patient



- 患者情報は、その施設内のシステムに予め登録されていない。
- 患者情報が未登録の場合は、適用範囲外。

IRWFのWorkflow

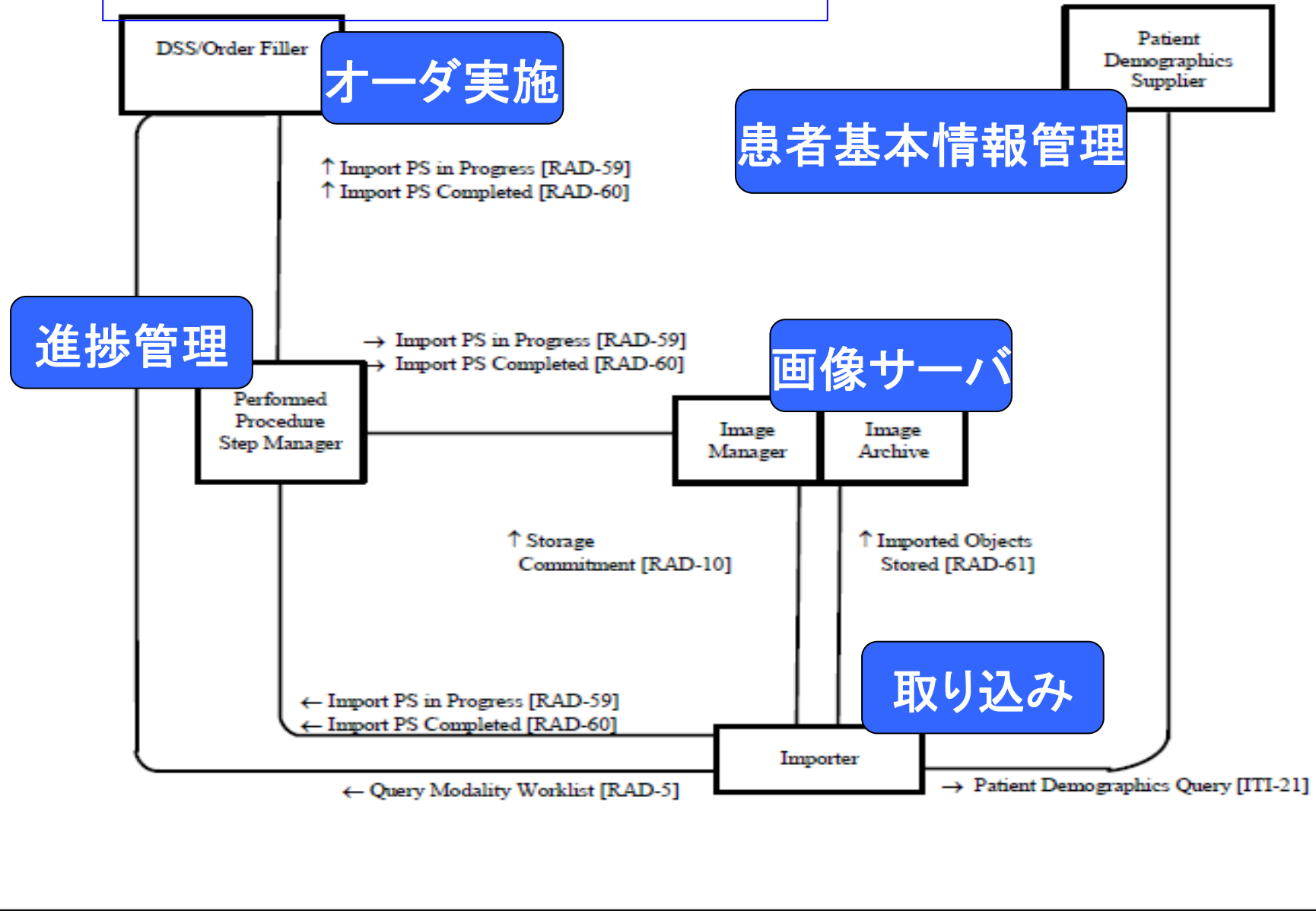


Figure 21.1-1. Import Reconciliation Workflow Diagram



Table 21.1-1. Import Reconciliation Workflow Integration Profile - Actors and Transactions

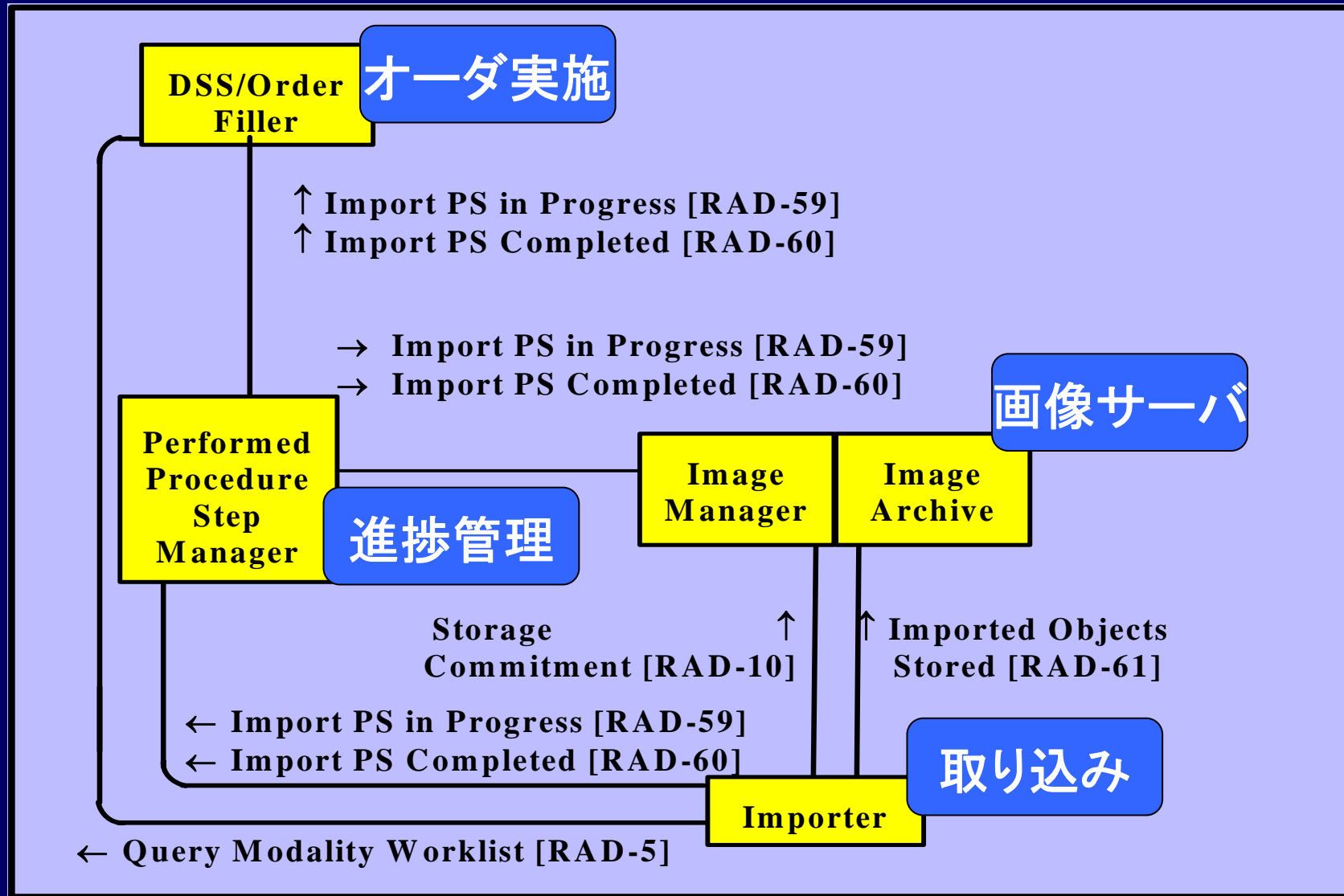
Actors	Transactions	Optionality	Vol Section
Department System Scheduler/ Order Filler	Import Procedure Step In Progress [RAD-59]	R	4.59
	Import Procedure Step Completed [RAD-60]	R	4.60
Patient Demographics Supplier	Patient Demographics Query [ITI-21]	R	ITI TF-2: 4.21
<u>Importer</u>	Query Modality Worklist [RAD-5] (Note 1)	O	4.5
	Patient Demographics Query [ITI-21] (Note 1)	O	ITI TF-2: 4.21
	Import Procedure Step In Progress [RAD-59]	R	4.59
	Import Procedure Step Completed [RAD-60]	R	4.60
	Imported Objects Stored [RAD-61]	R	4.61.
	Storage Commitment [RAD-10]	R	4.10
Image Manager/ Image Archive	Import Procedure Step In Progress [RAD-59]	R	4.59
	Import Procedure Step Completed [RAD-60]	R	4.60
	Imported Objects Stored [RAD-61.]	R	4.61.
	Storage Commitment [RAD-10]	R	4.10
Performed Procedure Step Manager	Import Procedure Step In Progress [RAD-59]	R	4.59
	Import Procedure Step Completed [RAD-60]	R	4.60

Note 1: The Importer shall support at least one of the Query Modality Worklist or Patient Demographics Query transactions.

オプション

- **Importer** は、以下の2つのオプションのうち、少なくとも、どちらか一方をサポートしなければならない。
 - **Scheduled Import**
 - ・ 予め、(画像取込み)オーダ発行し、その情報を取り込むことで、患者基本情報や依頼情報を取得する
 - **Unscheduled Import**
 - ・ 直接、患者情報をもっているシステム(医事会計)に直接問い合わせを行い、患者基本情報を取得する
- **IRWF** では、以下のサポートは必須である。つまり、オプション扱いではない。
 - **Import PPS Exception Management(オーダの進捗管理)**

Import Reconciliation Workflow Scheduled Import Transaction Diagram

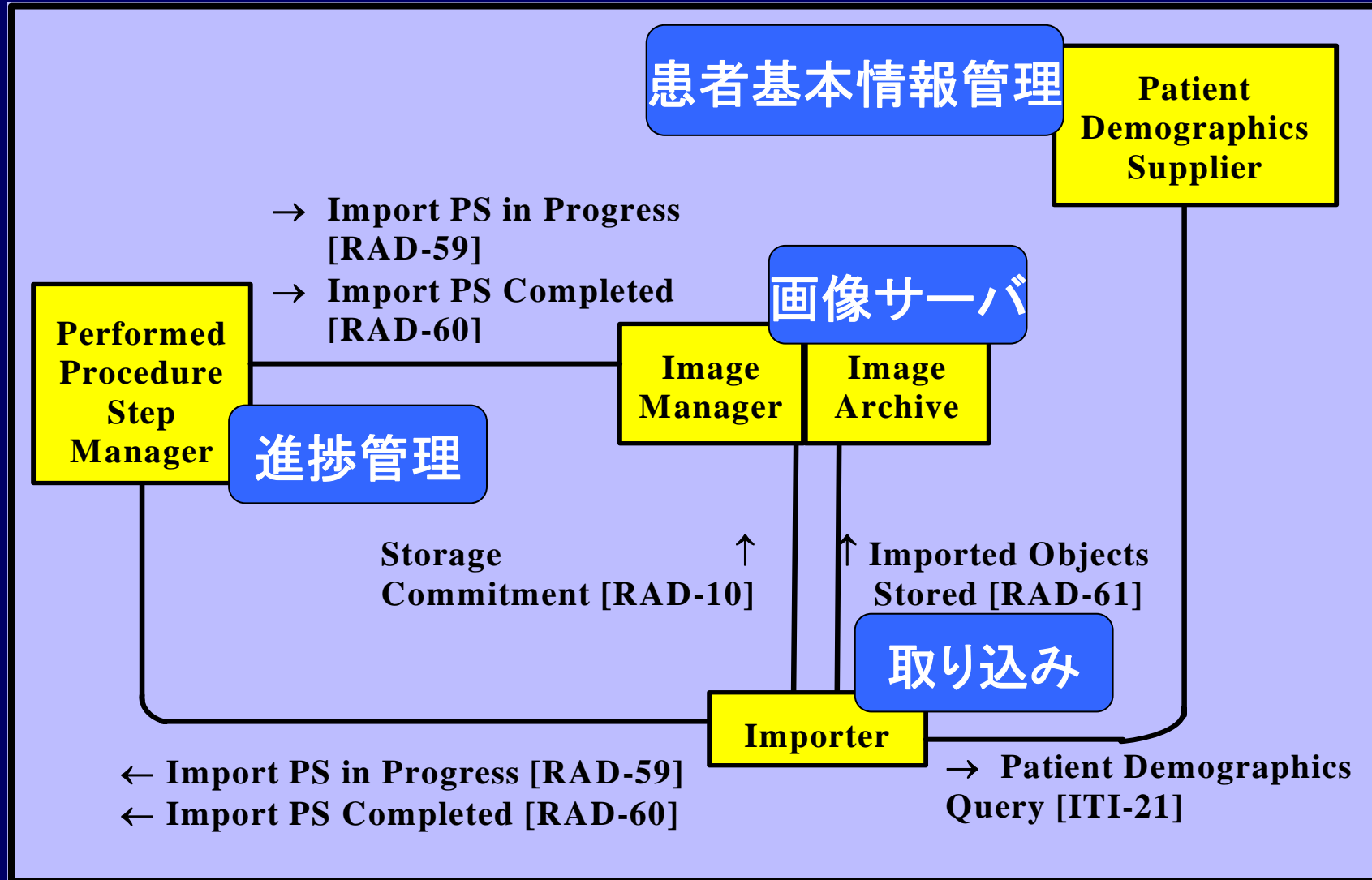


Scheduled Import

- **Importer** は、Query Modality Worklist トランザクションによって、患者情報およびオーダ情報を取得する。
 - Scheduled Procedure Step Descriptionで、インポートすべきオブジェクト(項目)を指示することができる。
 - Scheduled Protocol Step Description に、Import Instruction Codeをセットすることで、インポート後の処理やメディアの取扱い(例えば、廃棄、患者に返却など)を指示することができる。
 - Patient Based Query (患者基本情報の取得)のサポートは必須である。

Import Reconciliation Workflow

Unscheduled Import Transaction Diagram



Unscheduled Import

- **Importer** は、Patient Demographic Query トランザクションによって、患者情報を取得する。
 - Patient Demographic Queryは、HL7 で実現するトランザクションである。
 - Patient Demographic Queryは、IT Infrastructure 分野で定義されている。

オリジナル情報の保持

- インポート後に変更されたオリジナル情報は、Original Attribute Sequenceに保持される。
 - Original Attribute Sequence は、CP-526 にてDICOM規格化済み。
 - DICOMオブジェクトがインポートされる度に、新たなOriginal Attribute Sequence が追加される。

インポート履歴の保持

- インポートの履歴を残すために、**Contributing Equipment Sequence**に以下の情報がセットされる。
 - 使用機器の種類
 - 使用機器の製造業者
 - 使用機器の所在する施設名
 - 使用機器の識別名(ユーザ定義)
 - インポートを実施した日時

まとめ

- IRWF(Import Reconciliation Workflow)は他施設から渡されたデータを自施設に取り込むために作成されたワークフローである。
- IRWFの実現方法には、以下の2つが選択可能である。
 - Scheduled Option : 事前に取り込みオーダー発行
 - UnScheduled Option : 直接、患者基本情報を取り込む
- IRWFのimporter機能(アクタ)は、PDIのMedia importer機能 とともに実装されることが医療機関の運用上は適切である。
- IRWFを利用することにより、患者基本情報の取り込みを正確に実施できることになり、患者安全・医療安全に貢献する。

最新情報

- 日本IHE協会

<http://www.ihe-j.org>

- IHE(北米)

<http://www.ihe.net>

ご清聴ありがとうございました

END